|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 技術家庭 | 第３学年 | 呉市立広南中学校 | 指導者　塚本千都世 |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**挑戦・探究　知識・技能　情報収集・判断　思考・表現　　協力・協働　感謝・貢献**

**「子どもの成長」**

挑戦問題　**『みんなの力で幼児を笑顔いっぱいにしよう！』**

**１　単元で目指す学ぶ姿**

乳幼児に関心を持ち，幼児の発達の状況に応じた関わり方を工夫し，実践する姿

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **資質・能力** | | **評価** | **評 価 基 準** |
| **知識・理解** | **知識・技能** | **知識・技能** | S | 自らの経験を振り返り，幼児の特徴をふまえた活動を通して問題を解決するとともに，別の問題の解決の見通しも得ることができる。 |
| A | 自らの経験を振り返り，幼児の特徴をふまえた活動を通して問題を解決することができる。 |
| **技能** | Ｂ | 自らの体験を振り返り，幼児の特徴をふまえた活動をすることができる。 |
| Ｃ | 自らの体験を振り返り，幼児の特徴をふまえた活動をすることができない。 |
| **生活を工夫し創造する能力** | **思考力・判断力・表現力** | **情報収集**  **判断** | S | 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。 |
| A | 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。 |
| Ｂ | 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。 |
| Ｃ | 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |
| **思考**  **表現** | S | 遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを工夫し，改善することができる。 |
| A | 遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを工夫することができる。 |
| Ｂ | 遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができる。 |
| Ｃ | 遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができない。 |
| **生活や技術への関心・意欲・態度** | **学びに向かう力・人間性** | **挑戦**  **探究** | S | 幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと新しいことに挑戦する事ができる。 |
| A | 幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと粘り強く考えている。 |
| Ｂ | 幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと考える努力をしている。 |
| Ｃ | 幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようとすることをあきらめている。 |
| **責任**  **使命** | S | 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え，生き方の目標を見つけ出すことができる。 |
| A | 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え，実践をすることができる。 |
| Ｂ | 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解し，果たそうと努力することができる。 |
| Ｃ | 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解することができない。 |
| **協力**  **協働** | S | 仲間と協力して，幼児を笑顔にするための意見を出し合い，まとめ実践することができる。 |
| A | 仲間と協力して，幼児を笑顔にするための意見を出し合い，まとめることができる。 |
| Ｂ | 仲間と協力して，幼児を笑顔にするための意見を出し合うことができる。 |
| Ｃ | 幼児を笑顔にするために仲間と協力することができない。 |
| **感謝**  **貢献** | S | 自分にできることを具体的に考え，実践し，家族との絆を深めようとしている。 |
| A | 支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって，自分にできることを考えることができる。 |
| Ｂ | 支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもつことができる。 |
| Ｃ | 感謝の気持ちを持つことができない。 |

＜単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック＞

【評価方法】

　　　授業中の観察およびワークシート，提出物等，生徒には，次の資質・能力のルーブリック

　　　のAとS基準を示し，意欲を喚起させ，単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。

**２　単元について**

1. 生徒観

　中学生のこの時期は，心身の成長がアンバランスで，体は大きく成長しているが，精神の成長が追いついていない状態が多い。大人扱いされたい気持ちがありつつ，行動が伴わず，自我の芽生えから反抗的な態度をとったりする時期でもある。保育の分野は3年生で履修するが，広南中学校の3年生は，広南地区の狭い地域の中で，少人数の変化のない集団で幼児のころから育ってきており，感情のままに表現するので，仲間とのトラブルも多く，家族に対しても同様なトラブルになることもよくある。その反面，小さな兄弟がいる生徒もおり，幼児との関わりは少なからずあるので，支える立場としての自分の役割を考えるきっかけになればと思っている。

（２） 単元観

　思春期真っただ中にある自分と家族や家庭生活との関わりについて考え，自分の成長や生活は家族やそれにかかわってきた地域の人々に支えられてきたことについて気付くようにする。すべての命が望まれて誕生したもので，何もできない乳児の状態から，たくさんの愛情を受けて，少しずつ時間をかけてできることが増えて今の自分があること，それには多くの人々が助けてくれたことに，乳幼児期の特徴を学習する中で気付き，家族をはじめ，支えてくれたすべての人に感謝する気持ちを育てたい。この単元は道徳との関連付けもできるので，「家族愛」「地域社会への貢献」などの授業とも連動できると考える。

（３） 指導観

　遊び道具の製作や乳幼児と触れ合う活動などの実践的・体験的活動を通して，幼児に関心を持ち，幼児の心身の発達と幼児の生活，それを支える人々の役割，遊びの意義を理解し，幼児との関わり方を工夫できるようにするのが目標であるが，実際に幼児と関わる機会は限られている場合が多いので，視覚的教材を用いての学習や自らの体験を振り返ること，遊び道具の製作や保育体験学での幼児の観察。ふれあいを通して幼児への理解の深めさせたい。また育児中のゲストティーチャーを招いて話を聞く機会を設けることで，親としての思いや願い，乳幼児を取り巻く大人としての立場を意識させ，自分にできることを考え，実践していこうとする意欲を持たせたい。

　さらにこの学習を通して，幼児期を中心として自分を支えてくれた家族や地域の人々への感謝の気持ちを持ち，かけがえのない自分という存在を改めて認識できるようにしたい。

**①　挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。**

新たな志を抱く

幼児の成長を支えるために自分にできることを考える。

**志を抱く**

**自分たちの力で乳幼児を笑顔にしたい**

**準備をする**

**幼児の体と心の成長の特徴を理解する。**

**幼児にとっての遊びの重要性について理解する。**

**安全なおもちゃを工夫して作る。**

**幼児の成虫段階にあった交流の仕方を考える。**

**挑戦する**

**仲間と協力して幼児を笑顔いっぱいにすることができる**

挑戦問題

**②　振り返り時間（５分）の充実**

　ワークシートや振り返りシートの記入や，その時間のキーワードを確認することによって，学習した内容の確認をする。視聴覚教材を用いて，情報収集の時間を短縮し，思考する時間を多く持つようにする。

**③　自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定**

　　思春期（反抗期）の真っただ中にある生徒に，幼児期のことを聞くという課題を出すことで　家族からの聞き取りをさせて自分の成長の様子や親の苦労した話を聞いて振り返らせたり，おもちゃ調べをさせて楽しいだけではない様々な工夫があることに気づき，自らの製作に生かす。家族との会話を増やし，感謝の気持ちを持たせるようにし，家族とともによりよく生活していこうという意欲を持たせたい。

**④　ワークシート・ノート指導の工夫**

　　幼児の生活の一場面を切り取った図や写真などの視覚的教材を多く用いて，幼児期を想起しやすくし，「自分はこうだった」「今度はこうしてあげよう」という具体的な関わり方を考えられるように，具体的な事例を多く取り上げたワークシートを作成した。

**⑤　評価の工夫**

広南学園の資質・能力のＳルーブリックを活用し，教科の目標に準拠した評価活動を行う。

**３　単元の目標**

幼児の体や心の成長の特徴を理解し，幼児の成長段階にあった関わり方をすることができる。

自分も子どもが育つ環境の一つとして自分ができることを考え，社会に貢献できるようになる。

**４　単元の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生活や技術への関心・意欲・態度 | 生活を工夫し創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技術についての知識・理解 |
| 幼児の成長や生活に関心を持とうとしている。【知識・理解】  積極的に幼児に関わり，幼児の特徴や生活習慣，遊びの特徴を理解しようとしている。【挑戦・探究】 | 幼児の遊びの特徴を理解して，幼児にあった遊びを考える事ができる。【思考・表現】  　仲間と協力して幼児との交流会を企画することができる。【協力・協働】  幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。【思考・表現】  支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち，自分にできることを考えることができる。【感謝・貢献】  幼児の成長を支えるために自分にできることを考えることができる。【責任・使命】 | 幼児の成長に合わせて安全に配慮しながら幼児と遊ぶことができる。  【挑戦・探究】 | 幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。【情報収集・判断】  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  【知識・技能】 |

**５，**　**指導と評価の計画（全１４時間）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 評　価（○は主に「指導に生かすための評価」，●は主に「記録するための評価」） | | | | | |
| 関 | 工 | 技 | 知 | ○評価規準  （評価方法） | ★資質・能力の評価  （評価方法） |
| １ | ○幼いころを振り返る。  （めあて）  成長した自分を自覚し，どのように成長してきたかを振り返る。  **情報の収集**  　・生命誕生のＶＴＲを視聴し，生命の大切さを学ぶ。  　・就学前・小学生の自分を思い出し，どんな人と関わってきたかを振り返ってみる。  （まとめ）  　たくさんの人の支えがあって成長できることを理解する。  **課題の設定**  成長した自分は支える側として何ができるかという疑問を持つ。  挑戦問題  「みんなの力で幼児を笑顔  いっぱいにしよう」 | ◎  ○ |  |  |  | （生活や技術への関心・意欲・態度）  ●幼児の成長や生活に関心を持とうとしている。  （振り返りシート）  （生活や技術への関心・意欲・態度）  ○挑戦問題に挑戦しようとする意欲を持つことができる。  　（振り返りシート） | ★【知識・技能】  （資質・能力ルーブリック） |
| １ | ○幼児の体と心の発達を理解する。  **課題の設定**  （めあて）  幼児の身体の発達の特徴を理解しよう。  **情報の収集**  ・幼児のVTRを見て，今の自分たちとの違いに気付く。  ・図やグラフからその特徴をつかむ。  **整理・分析**  ・幼児期の身体の特徴と成長が激しいことの理由をグループでまとめる。  **まとめ・創造・表現**  （まとめ）  ・発達や成長には順序や個人差があることがわかる。 |  |  |  | ○  ◎ | （生活や技術についての知識・理解）  ○資料から幼児の成長の特徴をつかむことができる。（ワークシート）  （生活や技術についての知識・理解）  ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。 | ★【情報収集・判断】  （資質・能力ルーブリック） |
| １ | ○幼児の生活と心身の発達の  特性を理解する。  **課題の設定**  （めあて）  幼児の気持ちを理解しよう。  **情報の収集**  ・自分の幼児期の気持ちを思い出しながら，様々な場面と幼児の表情から幼児の気持ちを考える。  **整理・分析**  ・グループで小さいころの悲しかったことを出し合う。  ・言葉の発達について考える。  **まとめ・創造・表現**  （まとめ）  家族や周囲の人によって心の発達が促されることがわかる。  復習課題　家族に聞いてみる  　・自分の幼児期を振り返り，成長を実感する。 |  |  |  | ◎  ○ | （生活や技術についての知識・理解）  ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。（振り返りシート）  （生活や技術についての知識・理解）  ○幼児の成長と家族とのかかわりを理解している。（振り返りシート） | ★【情報収集・判断】  （資質・能力ルーブリック） |
| １ | ○幼児の生活の特徴と家族の役割を理解する。  **課題の設定**  （めあて）  トイレや歯磨きなどがいつ一人でできるようになったか考えてみよう。  **情報の収集**  ・幼児の一日の生活の流れを図から読み取る。  ・基本的生活習慣がいつできるようになったか思い出して，グループで情報交換する。  **整理・分析**  ・幼児の生活リズムと照らし合わせて，生活習慣がどのように身についてきたことを考える。  **まとめ・創造・表現**  （まとめ）  ・周囲の人との関わりで生活習慣の形成が図られることを理解する。  予習課題  ・子どものころによく遊んだ遊びとおもちゃを家族に聞いてくる |  |  | ○  ◎ |  | （生活や技術についての知識・理解）  ●幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。（振り返りシート）  （生活や技術についての知識・理解）  ○周囲の人のかかわりが幼児の成長に影響することを理解している。（振り返りシート） | ★【情報収集・判断】  （資質・能力ルーブリック） |
| １ | ○幼児の遊びの特徴と意義について考える。  **課題の設定**  （めあて）  　幼児の遊び方と遊びの意味を理解しよう。  **情報の収集**  ・鬼ごっこをした時の気持ちを思い出してみる。グループで意見交流する。  ・どんな遊びをしていたか出し合う。  **整理・分析**  ・鬼ごっこでどんな能力が引き出されるか考える。  ・そのほかの遊びから，どんな能力を身に着けているかを考える。  **まとめ・創造・表現**  （まとめ）  　年齢で遊び方が違うこと，いろんな力が身につくことがわかる。  予習課題  　好きだったおもちゃ，家にあったおもちゃを調べてくる。  ○遊びの道具や絵本，遊びの環境について考える。  **課題の設定**  （めあて）  子どもにとって良いおもちゃと遊ぶ環境はどんな条件なのか理解しよう。  **情報の収集**  ・自分が好きなおもちゃはどんな理由だったかを思い出す。  １  ・おもちゃや遊具でどんな遊び方をしたか，グループで意見交流する。  （生活や技術についての知識・理解）  ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  **整理・分析**  ・おもちゃや遊具での遊び方が場所によってどのように変わるかグループで考える。  ◎  ★【**情報収集・判断】**  （資質・能力ルーブリック）  **まとめ・創造・表現**  （まとめ）  ・成長を助ける大切なツールで  あることに気付く。  ○保育体験学習に向けて  **課題の設定**  （めあて）  ・保育体験学習で課題を見つけ，幼児との関わり方を工夫しよう。  **情報の収集**  １  ・どんな絵本が読み聞かせるのに良いか考える。  ・年齢にあった遊びをするためにどんなおもちゃが良いか考える。  ◎  **★【協力・協働】**  （資質・能力ルーブリック）  （生活を工夫し創造する能力）  ●幼児の遊びの特徴を理解して、幼児にあった遊びを考える事ができる。  **整理・分析**  ・幼児と交流するときの目標を設定する。  ・年齢ごとにグループで最適と思う絵本と遊び（おもちゃ）を決定する。  **まとめ・創造・表現**  （生活を工夫し創造する能力）  ○年齢にあった遊びを考えることができる。（ワークシート）  （まとめ）  ○  年齢に応じた内容を考えることができた。  予習課題  どんなおもちゃを作るか，作り方や材料を調べてくる。  ○交流のための道具（おもちゃなど）を製作する。  **課題の設定**  （めあて）  　幼児のことをイメージして  （生活を工夫し創造する能力）  ●幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。  おもちゃを作ろう。  ３  **★【思考・表現】**  （資質・能力ルーブリック）  ◎  **創造・表現**  ・安全に留意しているか。  ・対象児をイメージしているか。  ・ていねいに作っているか。  （生活を工夫し創造する能力）  ○幼児のことを考えたおもちゃ作りができる。（授業観察）  ○  **まとめ**  （まとめ）  　幼児の特徴や遊びに異議を踏まえたおもちゃ作りができた。  ○幼児とのふれあい体験  **課題の設定**  （生活の技能）  ●幼児の成長に合わせて安全に配慮しながら幼児と遊ぶことができる。  （めあて）  ◎  **★【挑戦・探究】**（資質・能力ルーブリック  　安全に配慮して，手作りのおもちゃと読み聞かせで，子どもたちを笑顔にしよう。  ２  （生活の技能）  ○幼児の活動に合わせて工夫して一緒に遊ぶことができる。（観察）  **創造・表現**  ○    グループごとに発表。交流を行う  復習課題  ふれあい体験での幼児の様子や感じたことをレポートにまとめる。 |  |  | ○  ◎ |  | （生活や技術についての知識・理解）  ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  （生活や技術についての知識・理解）  ○遊びによって様々な能力が身につくことを理解できる。  （ワークシート）  （生活や技術についての知識・理解）  ○おもちゃの役割を理解できる。（ワークシート） | ★【**情報収集・判断】**  （資質・能力ルーブリック） |
| １  １ | ○感謝の気持ちを伝える。  **課題の設定**  （めあて）  　保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。  **整理・分析・まとめ**  ・体験後にまとめた意見や体験の様子を情報交換する。  **創造・表現**  ・幼児が喜ぶお礼状を工夫して制作する  ○乳幼児を育てている人から話を聞く。  **課題の設定**  （めあて）  　ゲストティーチャーの話を聞いて自分にできることを考える。  **情報の収集**  ・ゲストティーチャーの話を聞く。  　出産前のこと  　出産後のこと  　困ること  　うれしいこと  　中学生に伝えたい事  **整理・分析・まとめ**  （まとめ）  　自分の成長を支えてくれた人々に感謝し，自分にできることを考えて実行する。  復習課題  　レポートにまとめる。 | ○ | ◎  ○  ◎ |  |  | （生活を工夫し創造する能力）  ●支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち，自分にできることを考えることができる。（振り返りシート）  （生活を工夫し創造する能力）  ○感謝を伝えるための工夫をすることができる（制作物）  （生活を工夫し創造する能力）  ○ゲストティーチャーの話から子育ての苦労や楽しさなどを聞いて自分の成長を振り返ることができる（ワークシート）  （生活を工夫し創造する能力）  ●支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち，自分にできることを考えることができる。（振り返りシート） | **★【感謝・貢献】**（資質・能力ルーブリック  **★【責任・使命】**  （資質・能力ルーブリック |

**６　本時の学習（１時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　一人ひとりが大切な存在であり，たくさんの支えがあって今の自分があることに気づく。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  ○命の誕生を考える。  ・「生命の誕生」のVTRを視聴し，力強く成長する胎児の様子を理解する。  **課題の設定**  ○何もできなかった自分がどうやって一人でできることが増えたのか，自分の成長を振り返る。  **めあて**  **「成長した自分を自覚し、どのように成長してきたかを振り返る。」**  **」**  **情報の収集**  **２　食事の仕方や排泄の仕方を考えてみる。**  　・グループで意見を出し合う  **整理・分析**  ・親だけではないことに気づく。  ・気付いたことを発表させ，共有する。  **まとめ**  **３　本時のまとめを行う。（５分）**  **４　本時を振り返り，次時につなげる。（５分）**  **・振り返りシートを書く。**  **・予習課題を知る。**  **○ルーブリックの提示をする** | ・9ヶ月かけて成長する胎児と変化する母体の様子から，生命の誕生が簡単ではないことを理解させる。  ・胎児の時期から「生きている」ことが実感できるようにする。  ・本単元の目標を資質・能力のルーブリックで共有する。  ・自分に関わった人々を思い起こさせる。  　両親  　家族  　幼稚園・保育所の先生  　地域のおじさん，おばさん  **生徒のまとめ例**  　幼児はいろんな人の力をもらって、支えられて成長するんだ。  **挑戦問題　「子どもたちを自分たちの力で笑顔にしよう」の提示** | ○生活や技術への関心・意欲・態度  幼児の成長や生活に関心を持とうとしている。  積極的に，幼児の特徴や生活習慣，遊びの特徴を理解しようとしている。  **★知識・技能**  S　自らの経験を振り返り，学んだことを活用して問題を解決するとともに，別の問題の解決の見通しも得ることができる。  A　自らの経験を振り返り，学んだことを活用して問題を解決することができる。  Ｂ　自らの体験を振り返り，学んだことを活用することができる。  Ｃ　自らの体験を振り返り，学んだことを活用することができない。 |

**７　本時の学習（２時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児の体の成長の特徴を理解する。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  ○幼児の体の感覚を体験してみる。（手の動きや幼児の視野）  **課題の設定**  **めあて　「幼児の体の成長の特徴を理解しよう」**  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報の収集**  **２　幼児の成長の様子を図や写真で観察する。**  ・体格の違い  ・成長度合いの違い  ・歯や骨格の違い  **整理・分析**    **３　グループで意見交換する**  ・幼児の成長の特徴とその理由を考え，発表する。  ・成長と行動の変化に気づく。  **まとめ**  **４　本時のまとめを行う。（５分）**  **生徒のまとめ例**  ・幼児がよく転ぶのは頭が大きいからだ  ・成長には個人差があるんだ  **５　本時を振り返り，次時につなげる。（５分）**  **・振り返りシートを書く。**  わかったことと，新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。  **・予習課題を提示する。（２分）** | ・今の自分との違いに疑問を持つ。  ・こんなに動かなかったかな？  ・身長・体重の増加がすごい。  ・頭の割合が大きい。  ・身長に対して頭高の割合が大きいのは幼児期に大脳が発達することと関連づける。  ・成長に伴って周りの大人の支援が変わることに気づき，体と心の発達は関係があることに気づかせる。  ◆机間指導 | ○生活や技術についての知識・理解  幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  **★情報収集・判断**  S　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。  A　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。  Ｂ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。  Ｃ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |

**８　本時の学習（３時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児の情緒の発達を理解する。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  ・泣いている子どものイラストを見て泣いている理由を考える。  **課題の設定**  **めあて　「幼児の気持ちを考えよう」**  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報の収集**  **２　人や物に対しての感情にはどんなものがあるか考える。**  ・幼児の様子のVTRを見て観察する。  ・年齢によって表現の仕方にどんな違いがあるか観察する。  **整理・分析**  **３　表出言語について考える。**  ・どのように覚えてきたか思い出す。  ・体の成長との関連を考えてみる。  **まとめ**  **５　本時のまとめを行う。（５分）**  **生徒のまとめ例**  かぞくや周囲の人の言葉がけで幼児の心は成長しているんだ。  年齢にあった関わり方が大切なんだ。  **６　本時を振り返り，次時につなげる。（３分）**  **・振り返りシートを書く。**  わかったことと，新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。  **・復習課題を提示する。（２分）**  家族に自分の幼児期の様子を聞いてくる。 | ・小さい頃にどんなことが悲しかったか思い出させる。  ・うれしい，悲しい，気持ちよい，気持ち悪い，好き，嫌い，恥ずかしい等  ・成長するに従って，表現する感情が豊かになっていることに気づかせる。  ・成長するに従ってことばの数も増えていることに気づかせる。  ・前時の体の成長と周囲の人との関わりと照らし合わせて考えさせる。 | ○生活や技術についての知識・理解  幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  **★情報収集・判断**  S　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。  A　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。  Ｂ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。  Ｃ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |

**９　本時の学習（４時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児の生活の特徴と家族の役割について理解する。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **・復習課題を発表させる。（２分）**  **１　課題意識をもつ。（３分）**  ・家族から聞き取りしてきた事を発表する。  **課題の設定**  **めあて**  **「食事や排泄がいつ一人でできるようになったか考えてみよう。」**  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報の収集**  **２　幼児期と今の生活行動を見比べて考える。**  ・幼児と中学生の生活リズムの違いに気づく。  ・それぞれの時期にお世話になった人を書き加えてみる。  **整理・分析**  **３　食事を一人で食べられるようになるためにどんな関わり方が良いか考える。**  ・排泄が一人でできるためにはどう支援したらよいかも考えてみる。  **まとめ**  **４　本時のまとめを行う。**  **生徒のまとめ例**  ・いろんな人との関わりが大切である。  ・成長にあった言葉がけが大切である。  ・グッズを使うことも有効である。など  **５　本時を振り返り，次時につなげる。**  **・振り返りシートを書く。**  わかったことと，新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。  **・予習課題を提示する。（２分）**  子どもの頃によく遊んだ遊びとおもちゃを家族に聞いてくる。 | ・睡眠時間が多い  ・おやつの時間がある  ・遊びの時間が多いなど  ・年齢毎にどんな言葉がけ，働きかけをすれば良いか，支援をどのようにすれば良いか具体的考えさせる。  ・生活習慣を身につけるためには，周囲の人的・物的環境を整える事が大切であることに気づかせる。  ・ | ○生活や技術についての知識・理解  幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  **★情報収集・判断**  S　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。  A　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。  Ｂ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。  Ｃ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |

**１０　本時の学習（５時間目／全１４時間）**

1. 本時の目標　幼児の遊びの特徴とその意義を理解する。
2. 学習活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **・予習課題を確認する。**  **１　課題意識をもつ。（３分）**  ○子どもの頃にどんな遊びをしていたか出し合う。  **課題の設定**  **めあて　「幼児にとっての遊びの意味を考えよう。」**  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報の収集**  **２　おにごっこをしていたときの気持ちを考える。**  **３　おにごっこで引き出される能力を考える。**  **整理・分析**  **４　自分たちがしていた遊びでどんな力がついたか考える。**  **まとめ**  **４　本時のまとめを行う。**  **５　本時を振り返り，次時につなげる。**  **・振り返りシートを書く。**  **・予習課題を提示する**  遊びを助ける道具を調べてくる。 | ・遊びの楽しさを振り返らせる。  ・おもしろかった。  ・楽しかった。  ・いやだった。  ・悔しかった  ・遊びによって自然に様々な能力が引き出され，楽しみながら身についていくことを理解させる。  ・遊びを通して成長した事を実感させる。  **生徒のまとめ例**  幼児は遊びを通して様々な能力や社会性を身につけている。社会のルールも学ぶ大切な時間である。 | ○生活や技術についての知識・理解  幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  **★情報収集・判断**  S　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。  A　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。  Ｂ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。  Ｃ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |

**１１　本時の学習（６時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **・予習課題を確認する。（２分）**    **１　課題意識をもつ。（５分）**  ○なぜこのおもちゃが好きだったのか？  **課題の設定**  **めあて　「子どもにとって良いおもちゃと遊ぶ環境はどんな条件なのか理解しよう。」**  ・本時の目標をルーブリックで理解する。    **情報の収集**  **２　好きだったおもちゃや遊具の好きな理由を考えてみる。**  ・自分の好きなおもちゃ  ・人気のあるおもちゃ  ・人気のある遊具など  **整理・分析**  **３　年齢ごとに分類してみる。**  ・年齢によって違いがあるか考える。  **４　良いおもちゃの条件はなにか考える。**  **まとめ**  **５　本時のまとめを行う。（３分）**  **生徒のまとめ例**  幼児が成長に合わせて、興味を持って遊べるものがいい。安全なものがいい。  飽きずに長く遊べる物がいい。  **６　本時を振り返り，次時につなげる。（５分）**  **・振り返りシートを書く。**  わかったことを文章で記述する。  **・復習課題を提示する。（２分）**  どんなおもちゃを作ったらよいか考えてくる。 | ・好きだったおもちゃや遊具を発表する。  ・好きなキャラクターが描かれていた。  ・どんどん新しい遊び方ができて楽しかった。  ・みんなで遊べて楽しかった。  ・幼児の興味を引き付ける工夫が様々な部分にしてあることに気付かせる。  ・年齢が上がるごとに，幼児の興味が変化していることに気付かせる。  ・行動範囲が広がり，遊びが変化していることにも気づかせる。  ◆机間指導 | ○生活や技術についての知識・理解  幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。  幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。  **★情報収集・判断**  S　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ，幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。  A　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。  Ｂ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。  Ｃ　幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。 |

**１２　本時の学習（７時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児との触れ合いに関心を持ち，学習したことを踏まえて，自分の課題を設定し，

　　　　　　　　　具体的なかかわり方を考え，工夫することができる。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。（２分）**  ・保育体験学習を実施することを知る。  **課題の設定**  **めあて**  **「保育体験学習の課題を見つけ、幼児との関わり方を考え、工夫しよう。」**  ・プロローグを読む。  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報収集・思考・分析**  **２　計画を立てる**  ・交流する時間と幼児のクラスを確認する。  ・グループごとに読み聞かせの本を選定する。  ・遊ぶおもちゃを考える。  **まとめ**  **３　体験学習の具体的な行動計画をグループごとに発表する。**  **４　振り返りをする。**  ・ほかのグループの発表を聞いた感想や参考になるものがあったかをシートに書く。  ・ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。 | ・保育体験学習の目的を理解させる。  ・交流するクラスの年齢を考慮した内容になるよう既習事項を思い出させる。  ・施設や幼児の様子，保育士の関わり方など観察する観点を与え，課題が設定できるよう指導する。  ・マナーや安全面の留意事項を確認しておく。  ・絵本の読み聞かせは，道徳の時間に練習する。 | ○生活を工夫し創造する能力  幼児の遊びの特徴を理解して，幼児にあった遊びを考える事ができる。  **★協力・協働**  S　仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめ実践することができる。  A　仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめることができる。  Ｂ　仲間と協力し　　て、幼児を笑顔にするための意見を出し合うことができる。  Ｃ　仲間と協力することができない。 |

**１３　本時の学習（８～１０時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児の年齢や発達の特徴を考えて，身の回りの物を材料にして幼児が喜ぶ遊び道具を作る。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  **課題の設定**  **めあて**  **「幼児のことをイメージして、幼児が笑顔になるおもちゃを作ろう。」**  ・プロローグを読む。  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **２　制作にあたって留意することを確認する。**  ・対象時の年齢・発達の特徴  ・制作材料  ・安全性  ・そのほか  **思考・表現**  **３　おもちゃ制作**  ・グループで検討しながら協力して作業を進める。  　幼児が楽しんで遊べるか  　年齢を考慮しているか  　安全に配慮しているか  **まとめ**  **４　製作レポートのまとめる。**  **・どの年齢のどういうところに着目して，どんな工夫をしたかをレポートの書く**  **５　ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。**  ・ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。 | ・幼児の心身の発達や遊びの特徴など，これまでに学習したことを考慮するよう助言する。  次のことを確認しながら机間指導をする。  ・ていねいに製作しているか  ・安全に配慮されているか  ・遊びが持続できるものになっているか | ○生活を工夫し創造する能力  幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。  **★思考・表現**  S 　遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを工夫し，改善することができる。  A 　遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを工夫することができる。  Ｂ　遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができる。  Ｃ　遊びや遊具の意義を理解し，幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができない。 |

**１４　本時の学習（１１～１２時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　幼児に関心を持ち，課題をもって幼児の状況に応じた関わり方を工夫し実践することができる。。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  **めあて**  **「子どもたちを自分たちの力で笑顔いっぱいにしよう！」**  **・準備をする。**  服装  　持参するもの  　役割分担の確認  　体験学習の目的と自分の課題の確認  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **・移動する**  **実　　行**  **２　体験学習　はじめに**  ・挨拶をして施設に入る  ・所長先生の話を聞く。  ・幼児と対面し，挨拶と自己紹介をする。  **３　体験学習　交流会**  ・計画をもとに幼児と遊びながら交流を深める。  ・交流をしながら，自らの課題に沿って情報を収集する。。  ・  **４　体験学習　おわりに**  ・お別れの挨拶をする。  ・移動  **５　振り返りシートに次の時間までに課題解決のための情報や，気付き，感想をまとめておく。**  **６　ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。** | ・服装を整えさせる。  ・幼児と触れ合う際の配慮事項を確認する。  ・マナーについて心がけるよう指導する。  ・幼児との交流が進められずにいる生徒には，友だちを参考にしたり，保育士の関わり方を参考にするよう助言する。  ・危険な行動がされていないか，生徒の行動に注意する。  ・何かするときは保育士の支持を仰ぐよう助言する。  ・片づけは幼児と一緒にするよう指導する。  ・感謝の気持ちを伝えられるよう，準備をしておくよう，事前に伝えておく。 | ○生活の技能  幼児の成長に合わせて安全に配慮しながら幼児と遊ぶことができる。  **★挑戦・探究**  S 　幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと新しいことに挑戦する事ができる。  A 　幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと粘り強く考えている。  Ｂ　幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと考える努力をしている。  Ｃ　幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようと努力していない。 |

**１５　本時の学習（１３時間目／全１４時間）**

（１）本時の目標　保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  教科の指導事項（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  ・保育体験学習の振り返りをする。  　気付いた事，感想を出し合う。  **課題の設定**  **めあて**  **「保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。」**  ・プロローグを読む。  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **思考・表現**  **２　交流した幼児に向けてメッセージカードなどを製作する。**  ・  **３　グループごとにクラスの様子とカードの工夫した点について発表する。**  **まとめ**  **４　ルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。** | ・幼児との交流わかったこと，感じた事，自分の心の変化などを発表させ，共有させる。  ・かわいかった  ・作ったおもちゃで楽しく遊んでくれてうれしかった  ・先生が子どもみんなを見ていた  ・けがをしないよう配慮がしてあった  ・幼児が喜んでくれるような工夫をするよう指導する。  ・年少のクラスなので簡単な言葉で書いた。  ・○○してくれたのがうれしかったのでそのことを書いた。  ・喜んでくれるよう，キャラクターの寄せ書きにした。 | ○生活を工夫し創造する能力  支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち，自分にできることを考えることができる。  ★感謝・貢献  ルーブリック  （ワークシート）  S 　自分にできることを具体的に考え，実践し，家族との絆を深めようとしている。  A 　支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって，自分にできることを考えている。  Ｂ　支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって，自分にできることを考えようとしている。  Ｃ　感謝の気持ちを持てていない。 |

**１６　本時の学習（１４時間目／全１４時間）**

（１）　本時の目標　実際に子育てをしている人から話を聞いて，自分たちができることを考える。

　　　　　　　　　　自分の成長を振り返り，家族に感謝の気持ちを持つ。

（２）　学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する児童への支援（◆）  予想される児童の反応 | 評価規準〔観点〕  教科の評価の観点（○）  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識をもつ。**  保育体験学習を思い出す。  今の社会の様子について知っていることをあげてみる。  **課題の設定**  めあて　「子育ては本当に大変な事ばかりなのか?考えてみよう」  ぁ」  ・本時の目標をルーブリックで理解する。  **情報の収集**  **２ゲストティーチャーの話を聞く。**  ２人の初産，１人の経産婦の方に話を聞く。  **整理・分析**  **３質問タイム**  いろいろ聞いて育児の実際を知る。  **４ふれあいタイム**  実際に赤ちゃんと触れ合って個人差があることを実感する。  **まとめ**  **４　本時のまとめを行う。**  ゲストティーチャーから中学生へのメッセージをもらう  **生徒のまとめ**  親に感謝したい。  自分にできることを見つけて、困っている人がいたら助けてあげたい。など  **５　本時を振り返り，今後の学習につなげる。**  今日の話と体験から考えたり感じたことなどを文章で記述する。 | 写真や新聞記事などを提示し，イメージしやすくする。保育体験時の感想をいくつか読む。  ・親になるとはどういうこと？  ・今，大変な事と楽しいこと？ | ○生活を工夫し創造する能力  支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち，自分にできることを考えることができる。  **★責任・使命**  ルーブリック  （ワークシート）  S 　幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え，生き方の目標を見つけ出すことができる。  A 　幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え，実践をすることができる。  Ｂ　幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解し，果たそうと努力することができる。  Ｃ　幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解していない。 |